

こくりにゆうだよ



2月号

大阪府立池田高等学校 2年 蒲田 郎実
「今年の節分の恵方は、南南東のやや南らしいです。」



今後のイベント情報



世界の「ミカタ」

みんなで楽しむ国際交流

2月23日(木・祝) 13:00~15:00

台湾・韓国出身の講師との交流やワークショップなどを通して、国際交流について考える。

定員：20人(先着順、小学生以下は保護者同伴)

会場：千里公民館(新千里東町1丁目2-2)

参加費：無料

申込：メール・電話にて受付

申込先：06-6843-4343(とよなか国際交流センター)

外国人のための離婚相談ホットライン

2月25日(土) 10:30~16:30

弁護士などによる外国人の離婚に関する電話相談・面談。

※英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、ネパール語、スペイン語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ポルトガル語、ロシア語の通訳あり。

電話での相談：06-6362-6125 (事前申込不要)

面談・オンラインでの相談：2月21日(火)までに要申込。

申込先：06-6843-4343(とよなか国際交流センター)

面談の会場：大阪弁護士会館(大阪市北区西天満1-12-5)

費用：電話、面談・オンラインでの相談ともに無料

12/11(日) 聴いてなっく！まるわかりセミナーを開催しました！

12月11日(日) 13時半からZoomで実施し、講師は当協会事務局長の山野上隆史が務めました。15人の参加がありました。

豊中市における外国人の状況、とよなか国際交流協会の取組の説明から始まり、新型コロナの感染拡大によって外国人がどのような影響を受けたか、報道での様子と調査(「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告書」)から見えた実際について報告しました。

質疑応答の時間では「外国人技能実習生が孤立していないか。事業者とのつながり作りが必要ではないか」、「ITなどのツールを活用することでもっと改善できることがあるのではないか」などのやり取りが行われました。また、アンケートからは「なかなか地域とつながりにくい外国人が地域とつながる端緒をどう作っていくか」「子育て中の親(特に母親)の孤立感が印象に残った」「自分に何ができるのか、もっと考えたいと思った」などの声が寄せられました。

協会では引き続き、様々な切り口から多文化共生について知り、学ぶ機会として、まるわかりセミナーを実施していきたいと思います。

(事務局長・山野上隆史)

【事業～新型コロナワクチン接種～】



【豊中市に暮らす外国人について】



当日使用したスライドの一部。

12/10(土) フィリピンコミュニティ クリスマス会

とよなか国際交流センターでは、2017年度からフィリピン人中高年のための居場所づくりとして、コミュニティ「FYAHC (Filipino Young at Heart's Club)」の活動を実施しています(現在は不定期開催)。地域に暮らすフィリピン人とその家族を対象としたフィリピンコミュニティのクリスマス会を、当センターにて開催しました。昨年に続きコロナ禍でのクリスマス会となりましたが、感染症対策をとりながら開催しました。

今年は、冒頭に「年金セミナー」を開催し、フィナンシャルプランナーの福一由紀さん(マネーラボ関西)よりお話いただきました。参加者からは、「海外にいても老齢年金は受け取れるか※」「老後の資金形成はどうしたらいいか」などの質問が積極的になされました。(※海外にいても、手続きをすれば老齢年金は受け取ることができます。) セミナーの後は、クリスマスのためのお祈りをし、大人の部・子どもの部に分かれてのゲーム大会やプレゼント交換などを楽しみました。

ゲームの運営や司会進行、準備や片付けも含めて、コミュニティのメンバーで協力しながら盛り上がりました。片付け終了後、仲間との名残を惜しむ人たちが残って談笑している様子が印象的でした。

(協会職員・山本房代)



大人もゲームで盛り上がり！



集合写真：ドレスコードは赤・白・緑でした



セミナーもクリスマス風で実施しました



差別や偏見がある社会の中で生まれ、生活していると、多くの人にとって差別や偏見は「普通」の状態なので、意識されにくくなります。これは差別されている側にも起こります。「普通」からはずれた言動をすることが、その社会でどのようにみなされるかを学びながら大人になりますので、そのリスクへの不安や恥が内面化され、その結果、より消極的に、慎重に行動するようになります。そのような「初期状態」のなかでは、自分の問題や苦しみを自分のせいだと感じたり、個人的なことだと考えたりします。

アメリカでの、アフリカ系アメリカ人に対する暴力や構造的な人種差別の撤廃を訴えるBLM（Black Lives Matter）運動から、社会の中で力を持つ側のほうが、人権問題への取り組みをより積極的に示していく必要性が広がってきました。私は欧米の団体の研修を時々受けるのですが、ここ1～2年、研修の始めに、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂）が提示されるようになりました。主催者側が、研修においてこれらを重視していること、研修における差別や偏見を是正していくことなどが話されます。また主催者側は、マイノリティの参加者に対し、より積極的に発言するよう励まします。

主催者のこのような積極的な姿勢を何度か経験していくなかで、私自身が少しずつ変わっていききました。欧米の団体が主催の研修では、私は「よそ者」で、マイノリティで、言語的にも不利なので、いつも遠慮していましたし、それが当然のように思っていました。女性として生きてきたことも重なり、遠慮の刷り込みがどれほど深かったのかということに気づかされた出来事が去年ありました。心の奥底に沈んで意識されずにいた「引がかかった感じ」の出来事が、突然思い返されたのです。それは、「私たちは聞きます、聞きたいです、あなたの感覚は大切です」というメッセージがあって初めて顔を出したものでした。あれは差別行為だったのだとようやく意識できたのです。

社会には、あからさまな暴言や排斥よりも、このような、わかりにくいけれど、でも実は差別や偏見に基づいた言動や制度のほうが多くあります。行う人は、知らないし、気づかないし、わからない。あまりに「普通」のことであり、親切や丁寧さから行われていたりもします。それは私も含みます。

在住外国人との共生を掲げるとよなか国際交流協会においては、このテーマはとても重要だと私は考えます。日本人で、日本語を話し、支援を提供する側である私は、あきらかに「力」を持つ側です。相談を求めてくる人、センターに来館する人の声に耳を傾け、私自身を変化させることを恐れないうために、何をしていく必要があるか。人権保障のためにフォーカスすべきは誰であり、何であるのか。相談者が安心して、本当の思いや考えを出せるためにどうすればよいか。

こういうことを、改めてしっかりと考えていきたいし、実行していきたいと思っています。

【告知】 2/5(日) とよなか国流の30年を振り返るパネルディスカッション

とよなか国際交流協会・センターは1993年に設立され、今年30周年を迎えます。この30年間、多くの市民、関連機関・団体、行政などと共に多文化共生のまちづくりに取り組んできました。

本パネルディスカッションでは、豊中での多文化共生社会の実現に向けた30年の歩みを榎井緑さん（大阪大学大学院特任教授）、田中逸郎さん（NPO法人NPO政策研究所理事、元豊中市副市長、コミュニティ政策学会理事）、そして多くの参加者からのメッセージと共に振り返りながら、明日の多文化共生社会を展望します。

多くの方のご参加をお待ちしております。

【イベント概要】

日時：2023年2月5日（日）

18：00～20：00

場所：とよなか国際交流センター

定員：90人（申込先着順）

参加費：無料

申込：電話（06-6843-4343）

メール（atoms@a.zaq.jp）

※オンライン配信はありません。

とよなか国際交流協会設立30周年記念
パネルディスカッション

とよなか国際交流協会の 30年を振り返る



榎井緑さん
大阪大学大学院特任教授



田中逸郎さん
NPO法人NPO政策研究所理事
元豊中市副市長、コミュニティ政策学会理事

とよなか国際交流協会・センターは1993年に設立され、2023年で30周年を迎えます。この30年間で日本に暮らす外国人の数は約130万人から約200万人へと大きく増加しました。最近では、国も外国人労働者受け入れ促進や多文化共生政策の推進に力を入れ始めています。この30年間、多文化共生の実現に向けた活動の中心を担って来たのは、それぞれが独自の役割であり、中絶を断念せず、地道に努力した。本パネルディスカッションでは、豊中での多文化共生社会の実現に向けた30年の歩みを振り返り、関係者、関係者、そして多くの参加者からのメッセージと共に振り返りながら、明日の多文化共生社会を展望します。

2023年 2月5日(日) 18:00～20:00

会場：とよなか国際交流センター（エトレ豊中6階）

定員：90人（要申込・先着順）

【申込・問合せ】

（公財）とよなか国際交流協会

住所：豊中市井町1-1-1, 601（エトレ豊中6階）

TEL：06-6843-4343 E-mail: atoms@a.zaq.jp

【主催】

（公財）とよなか国際交流協会（とよなか国際交流センター・指定管理）

2023

2月

の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。

記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30	31	01 休館日	02 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	03 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	04 相談 若者	05 がちゃ 南部 30年を振り返る パネルディスカッション 18:00~20:00
06 もっど 相談	07 おやこ 相談 こんぱす	08 休館日	09 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	10 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	11 建国記念の日	12 がちゃ 母語 サンプル
13 もっど 相談	14 おやこ 相談 こんぱす	15 休館日	16 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	17 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	18 つどい 相談	19 がちゃ サンプル
20 もっど 相談	21 おやこ 相談 こんぱす	22 休館日	23 天皇誕生日 世界のミカタ 13:00~15:00	24 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	25 相談 チョアチョアコリア② 外国人のための 離婚相談ホットライン 10:30~16:30	26 がちゃ 母語 サンプル 南部
27 もっど 相談	28 おやこ 相談 こんぱす	01	02	03	04	05

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…	もっどもっどつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日…	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日…	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日…	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日…	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 14:00~16:00
日曜日…	にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

世界の「ミカタ」
みんなで楽しむ国際交流

世界の「ミカタ」は体験型の国際理解プログラムです。
今回は韓国と台湾出身の講師お二人をお迎えします。
子どもから大人までどなたでもご参加いただけます。

参加者のみなさんにとっては、その講師だからこそお話しできる内容で 韓国や台湾の知識を深めるだけではなく、疑似体験やワークショップ等を通して「新たな気づき」が生まれる時間になると思います。

今回のプログラムで「世界の見方」が変わり「世界の味方」になるきっかけとしていただけると幸いです。

※詳細は表紙ページ下部のイベント欄をご覧ください。

とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゅうだより」第166号(2023年2月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

